

カイシャ 検索

[エリアでみる](#) [特徴でみる](#) [ストーリーでみる](#)

TOP > [カイシャをさがす](#) > [株式会社横引シャッター](#)

関東地区

株式会社横引シャッター

株式会社横引シャッター

「社員は家族」。創業者理念を進化させ、群雄割拠の業界を生き抜く

社員第一主義の創出ストーリー

「社員は家族」。創業者理念を進化させ、群雄割拠の業界を生き抜く

ワーキングマザーや外国人社員など多様な人材が一堂に会する職場ともなれば、価値観も千差万別。しかし、従業員の間には家族愛が生まれると、その結束力が思わぬ力を発揮する。

社員第一主義に基づいた家族経営を徹底する

社名の「横引」とは創業者の名かと思いきや、横に開閉するシャッターを専門に扱う会社だからそのままを屋号にしたという。創業の先代社長は、大手シャッターメーカーから修理を請け負う株式会社中央シャッターを立ち上げ、1987年にグループ会社として横引シャッターを設立した。大手メーカーから仕事を奪ながら、ある意味ではライバルとなる商品の開発、販売を展開できるのは、確かな技術による信頼と社風。その社風の礎となっているのが先代の「社員第一主義」ともいべき経営方針によるところが大きいという。

跡を継いだ市川慎次郎代表は、先代である父の背中を見て育ち、「社員は家族です」と言い切る。また、父の意思を受け継ぐだけでなく、その意思を「見える化」して進化させてきた。

「先代はよく社員は自分の分身と言っていました。経営者も身はひとつ。同じ時間に2つの得意先は廻れない。それをフォローしてくれている社員はいわば自分の分身。目配り・気配りして応えるのは当たり前。社員は絶対に解雇しないという方針を厳守するよう事あるごとに言っていました」

そう語る二代目の市川代表は先代からの方針を厳守しながらも、自らの経営哲学も実践する。それが『変えないこと』と『変えていくもの』の明確化である。



市川慎次郎代表の話からは社員への愛情の深さうかがい知ることができる

「定年なし」、「年3回の昇給」。型破りな経営で組織活性化を

横引シャッターでは従業員の解雇をしないばかりか定年もない。本人が働きたければ何歳までも仕事を続けられる。事実、現在最高齢の社員は88歳というから驚きだ。月に1回の健診を義務付け、雨の日は自転車通勤の身を察じて休日にするなど細やかな配慮がその背景にはある。近年、定年を迎えた社員を再雇用する企業も増えているが、給与はグンと下がるのが常識。ところが横引シャッターの場合は退職するまで昇給し続ける。

「ある年齢になったから辞めてもらうというのは会社の一方向的都合です。65歳になってガクンと社員の能力が多るわけではありませんからね。そういう意味でも、すべて正社員で、本人が望めばずっと雇用し続けるのが当社の人材に対する基本的な考え方で、正社員やパートに分類することもありません」

事実、従業員はベトナムからの研修生2名を除き、すべてが正社員といい、7名の女性社員のうち3名は育児をしながら活躍している。

「社員第一主義」を貫く市川代表の具体的な取組はそれだけに留まらない。昇給は随時行っており、1年に3回昇給するという社員も少なくない。1回で上がる給与はほしい1万円というから年間に3万円のペースアップが望めるわけである。またボーナスがない代わりに、昨年、営業担当にはオーダーメイドのスーツ、製造部門の社員には作業着、女性社員には商品券などを支給している。市川代表いわく「現金支給だと本人が使えないケースが少ないので立場に応じた現物支給を考えた」という。今年は防災グッズをはじめ、子育て中の社員にはミルク、独身で自炊をしている社員には米を考えているそうだ。



整理整頓された横引シャッターのオフィス内

思いやりのある社風の中、仕事と子育てに奮闘中

子育てをしながら働く女性社員の一人、萩原有紀子さんは大手住宅メーカーからの転職組。主に顧客からの要望に合わせてオーダーメイドのシャッター設計を担当する。

「前職では住宅設計に携わっていたのですが、残業が多くて退社を余儀なくされました。その後、出産・育児を経て子どもが1歳になったのを機に時短で働ける会社を探していたところ横引シャッターに出会いました。当社への入社決め手となったのは、社風と市川代表の人柄です」

萩原さんがまず驚いたのが面接日時の連絡をした際に「お子さんを預けるのも大変だろうから、一緒に連れて来れば」という市川代表の言葉。しかも面接時に自ら子どもにおもちゃを渡して遊んでくれたのだという。その光景に他社にはない温かさを感じたという。現在は10時から16時までの時短で働く。

また、同社では女性社員が集まって月に1回は女子会を開催している。少し贅沢なランチを楽しむのだが、仕事と子育ての両立を回る女性同士の情報交換の場として絶好の機会になっているという。このランチの経費は会社が全額支給している。

「社員だけでなく、その家族も同じように考えていただける。それが何よりも嬉しいですし、働く意欲にもつながります」

そんな萩原さんが目指しているのが英語力の向上。同社は外国籍の社員も多く、将来的には海外への事業展開も視野に入れている。その時に備えてのチャレンジという。アットホームな環境の中で次の目標を見出した萩原さんの表情は輝く。



仕事と子育ての両立で時短の使い方が上手になったという萩原有紀子さん

若手に仕事を任せてくれる。だから成長も早い

営業を担当する渡辺裕さんは入社3年目の若手。ゼネコンや設計事務所といった、いわばプロの顧客のニーズを的確に聞き取り、シャッターの形状や材質を決めて、社内の設計・製造部門への伝達、さらに取り付けまでをコーディネートするという大役を担う。

「若手社員でも仕事をどんどん任せてくれるのが横引シャッターの伝統です。その分、成長も早いのではないのでしょうか。先輩から引き継いだお客様に言いながら受注を取り付け、お客様とシャッター仕様の打ち合わせから施工まで、すべてに関わるので責任は重いです。その分やりがいは大きいです。最も達成感を感じる瞬間は、やはりシャッターの据え付けが終わった時ですね」

渡辺さんが心がけているのは、チームとしての一体感。そのために設計や製造、そして施工を担当する職人さんとのコミュニケーションを密にするなど雰囲気づくりを大事にしているという。その背景には「現場の雰囲気や品質にもつながる」というこれまでの確かな仕事に裏打ちされた自信をのぞかせる。



積極的な若手への権限委譲が成長の源という渡辺裕さん

編集部からのメッセージ

◎ 極カルールは作らず、お互いを支え合う配慮を重視

女性社員の活躍を支援するために出産・育児休暇制度、あるいは時短制度などを導入する企業が増えている。しかし、横引シャッターでは複数のワーキングマザーが在籍しているにも関わらず、明文化された制度はあえて導入していない。ルール化することで制度が一人歩きすることを回避するためだ。それよりも社員一人ひとりの希望に応じられるような配慮や、社員同士が支え合うことを重視する。

「当社の社員は30数名。このくらいの人数ならば経営者もすべての社員の家族構成や状況を把握できる。そうした社員全員が目行き届くのが小さな企業の良さだと思います。ですから制度化するよりも個々に対応したほうが、社員自身も働きやすいと考えています」（市川代表）

同社が手がけるオーダーメイドのシャッターと同様に、社員一人ひとりの状況に合わせて制度もオーダーメイドしているのだ。もちろん、社員同士が支え合うという意識も浸透しており、こうした社風で家族のような組織の一体感を生んで活力につながっているのだろう。

社名：株式会社横引シャッター
 設立年・創業年：設立年 1986年
 資本金：1,000万円
 代表者名：代表取締役 市川慎次郎
 従業員数：33名（内、女性従業員数7名）
 所在地：120-0005 東京都足立区綾瀬6-31-5
 TEL：03-3628-4500
 URL：http://www.yokobiki-shutter.co.jp
 採用情報：ホームページよりお問い合わせください

この企業もオススメ!

編見工機株式会社 誰に何をどう伝えたいのか。本質を考え抜き、唯一無二の「展示」を創造

株式会社アットオフィス ビルの「使い方」を提案し、新しいニーズを発掘、競争力を高める

CONTACT お問い合わせ

東京都主催「中小企業しごと魅力発信プロジェクト」運営事務局

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館15階（アクセスヒューマネクスト内）

TEL：03-3479-0293（電話受付 平日 9時30分～18時30分）

FAX：03-5413-3020 E-mail: tokyo-miryokuhakken@access-tl.co.jp

※本事業の事務局は、東京都より㈱アクセスヒューマネクストに運営を委託しております。

@kaishahakkendenさんのツイート

東京カイシャハッケン伝!
@kaishahakkenden

「東京カイシャハッケン伝!」の企業を実際に見て行く「トーキョーシゴト・ワゴン」が今年も始まるワッ! 昨年大々だった企画。実際に自分の目で見て、社員さん・社長さんの話を聞いてカイシャの魅力ハッケンするワッ! kaisyahakken.metro.tokyo.jp/wagon/in dex.ht...

東京カイシャハッケン伝!
@kaishahakkenden

「東京カイシャハッケン伝!」は10冊冊子版もあるワッ! 最新号の5冊は昨日から見られるワッ!

埋め込む [Twitterで表示](#)

Facebook 公式ページ

twitter 公式アカウント

深海8000mに挑戦!
町工場が挑んだ世界初の深海撮影
立戸つ子1号プロジェクト

中小企業しごと魅力発信
取り組みレポート

キャラクター
プロフィール

東京中小企業サービスロード情報誌
モノづくり、ものがたり

TOKYOはたらくネット
～東京都の雇用政策に関する総合WEBサイト～

東京しごとセンター

東京都産業労働局からの
お知らせ
公正な採用選考等について

経営者や社員の生の声が聞けた!
ツアーレポート

冊子バックナンバー
東京の中小企業紹介も
就活役立ち情報マガジン
GUIDE